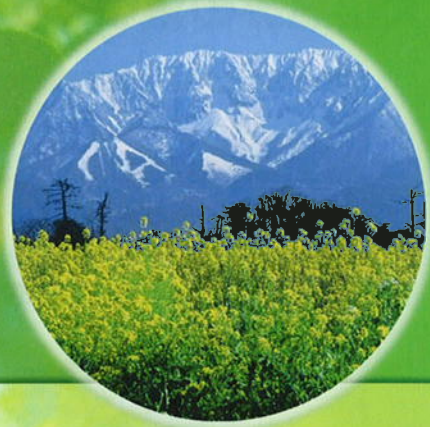
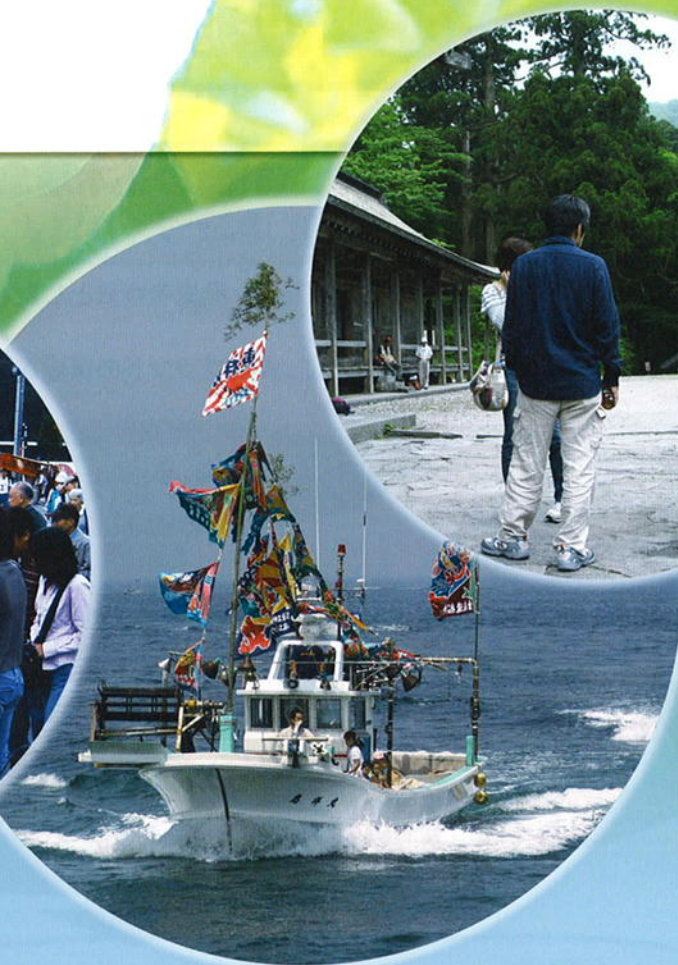




大山恵みの里づくり計画（概要版）

平成18年10月
鳥取県大山町



大山町の地域資源

大山をはじめとする全国に誇る貴重な自然環境と町内各所に存在する豊富な歴史資源

県内トップクラスの農業産地
(二十世紀梨、りんご、白ネギ、ブロッコリー、和牛など)
多彩な特産品・加工品
(ブルーベリー、茶、乳製品、ジャムやタレなど)
県内さざえ・わかめのナンバーワン産地

大山周辺への観光客数は、5年連続減少・衰退傾向から上向きの兆し

地域の資源を改めて見直し、その魅力や価値を一層高めるさまざまな活動に参画しよう！

消費者や市場の声に応じて、付加価値を高め、磨きをかけて、地元のものを自ら売ろう！

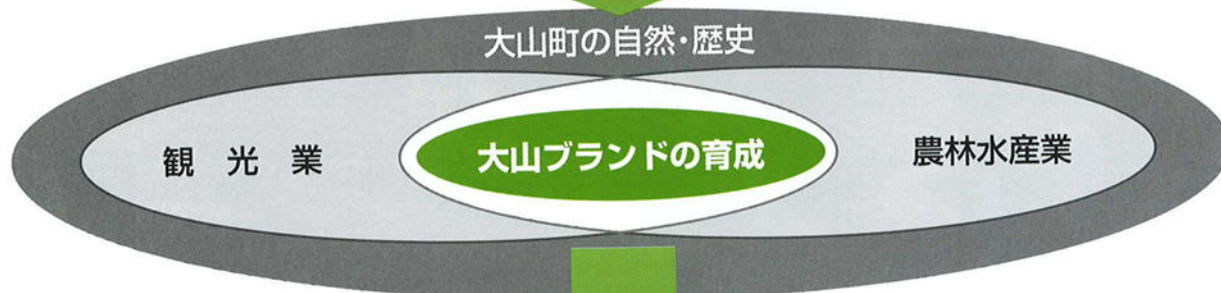
名所・施設と業者だけの旧来型観光地から、住民主導による人ありきの観光地づくりをめざそう！

〈計画の基本理念〉

大山をシンボルとする観光地域づくりによる産業・雇用・所得の活性化

- 秀峰・大山をシンボルとして、大山町の自然・歴史を背景としたさまざまな資源の価値や魅力を引き出し、全町的な観光地域づくりに結びつける。
- 観光業と農林水産業を基幹産業として、大山ブランドの育成を図ることにより、産業・雇用・所得の活性化をめざす。

町民総参画による
観光地域づくり展開



持続可能な
魅力ある観光地域の形成

町内の産業・雇用・所得の
活性化

住みたくなる
住み続けられる大山町

〈計画の基本姿勢〉

「品質革新」～あらゆるものの品質の磨き上げに取り組む

「資源連携」～多様な地域資源の価値を連携させる

「公民協働」～ともに意識を変える・まずやってみる

計画の実現に必要な組織づくり

「観光・交流・集客」と「農林水産業・特産品・食」の2つの領域で両輪のごとく駆動し 民間や住民の活動を牽引する機関が必要

農林水産・特産品・食

財団法人 大山恵みの里公社の設立

～町内の一次産品・特産品等の
外貨獲得・雇用創出の集中支援～

- **大山ブランド産品の認証機関**
 - 大山ブランド産品の育成に向けた支援
 - 大山ブランドの認証制度の開発・運用
- **マーケティング支援を通じた販売支援**
 - 消費者への市場調査や商談会の開催
 - インターネット通販のポータルサイト開設
- **人材育成・起業支援**
 - 研修機会の提供や異業種交流の場づくり
 - 創業・新規参入の支援、空き店舗活用の促進
- **総合交流拠点の管理運営**
 - 農畜産物・水産物・特産品等の販売市の運営
 - 大山ジゲの味の提供

観光・交流・集客

新・大山町観光協会の設立

～国立公園大山を中心とする
観光資源を活用した交流人口の増加～

- **大山寺参道・アルペンルートの
一体的再生**
 - 観光ガイド窓口の創設・運営
 - 大山寺参道の振興・にぎわいづくり
- **体験観光商品の開発・販売**
 - 観光案内機能の強化(ランドオペレーション)
 - 観光資源の掘り起こし・旅行商品の造成・販売
- **関係機関との連携強化による
サービス強化**
 - 大山町観光商工課・大山中海観光室 等
 - NPO大山中海観光推進機構(大山王国) 等
- **収益事業の拡大による自主財源の確保**
 - 指定管理者としての収益事業(駐車場管理)
 - 旅行業取得等による主催事業の拡大

最終的には、
住民によるチャレンジ＝起業化
による経済活動を通じて、
雇用と所得の創出への挑戦

まちづくり・住民起業

住民まちづくり会社の起業

- **大山町の地域資源を活かした
ビジネス化をめざす**
例) 御来屋賑港株式会社

NPO法人等の育成

- **大山町のまちづくりや地域活
動等の活性化を図る**

5つの目標と目標達成のための施策

目標 1 魅力を高める

基本方向 大山から日本海まで 「町民総参画による環境保全活動の展開」

- 町内全域を対象に町民総参画で自然保護や環境再生活動
- 町民自ら環境に対する意識を高める「大山町環境の日」を制定
- 地域の花づくり活動を
一自治会一ガーデン運動として展開
- 大山町景観づくりコンテストの開催や
大山町景観条例の制定



	現状値(H18)	目標値(H21)
環境保全活動の参加人数	年間延べ2,500人	10,000人
大山町景観づくりコンテストの開催	—	毎年開催
一自治会一ガーデン運動参加団体数	10団体	50団体

基本方向 観光・大山の顔である 「大山寺参道・アルペンライン地域の再生と魅力向上」

- 見る・食べる・泊まる・学ぶ・遊ぶをテーマに
大山寺参道とアルペンラインの「るるぶ化」
 - ・からす天狗キャラクター“グーちゃん”を活用したグッズ、土産物、料理等の商品開発
 - ・歩きたくなる大山参道づくり(街なみ景観整備、一坪ギャラリーの開設)
 - ・大山の食の恵みづくり(参道の一店逸品運動、大山の食研究会、地産地消の仕組み)
 - ・テーマ性のある大山の宿づくり(食事・体験、スポーツ・文化合宿)
 - ・大山アート発見の場づくり(アートギャラリー、ショップ開設、クラフト大賞創設)
 - ・大山の自然や歴史を学ぶ機会の提供(ガイドとの連携による大人の修学旅行の実施)
- 香取地区、あけまの森ペンション村、県道米子大山線周辺の「るるぶ化」
- 大山寺周辺での空き店舗や空き地を活用した起業を促進



からす天狗キャラクター
“グーちゃん”



	現状値(H18)	目標値(H21)
グーちゃんキャラクター関連グッズ商品数	1商品	10商品
地域団体商標「大山そば」提供店	0店舗	5店舗
一店逸品宣言の店舗数	0店舗	15店舗
旅館・民宿の年間合宿利用客数	18,000人	36,000人
空き家・空き店舗チャレンジショップ店舗数	0店舗	6店舗

基本方向 山陰道を活用した 「観光・物産等の総合的な拠点づくり」

- 大山観光への玄関口となる観光・物産・情報の総合的な拠点づくり
- 拠点施設では特産品販売や体験観光等、住民と行政の協働運営で全体への波及効果



	現状値(H18)	目標値(H21)
総合的な拠点施設の利用者数	0	20万人
総合的な拠点施設の販売額	0	3,600万円

目標 2 交流人口を増やす

基本方向 大山町の体験観光の指南役となる 「観光ガイド機能の確立・強化」

- 観光ボランティアガイドの窓口開設と講座によるガイドの育成・確保
- 専門的な案内・指導を担当する体験観光インストラクターの育成・確保
- 大山登山ガイドの活用やマリンレジャー体験指導者の育成



	現状値(H18)	目標値(H21)
観光ボランティアガイド養成講座	年1回	年2回
同 累計受講者数 (修了認定)	23人	60人
体験観光インストラクター養成講座開催数	0	年5回
同 累計受講者数 (修了認定)	0	30人

基本方向 大山町の豊富な資源を活用した 「体験観光の商品造成・販売の強化」

- 漁村体験観光や観光農園など、商品開発と運営母体の設立による体験観光プログラム100の商品化
自然体験・環境学習、歴史文化体験、スポーツ・アウトドア体験、農業・漁業等の生産体験、郷土食・農産加工体験、工芸・クラフト体験



- 既存の旅行代理店や大山王国との連携、観光協会における事業化を通じた体験観光の販売強化



	現状値(H18)	目標値(H21)
体験観光プログラム(メニュー)数	—	100
体験観光受入民間団体数	—	50団体

基本方向 スノースポーツや登山、温泉等を活用した 「スポーツ・健康づくり旅行商品の開発」

- 満足度調査や合宿メニュー研究を通じた高地トレーニング合宿商品の開発
- スノーシューでのトレッキングコースの開拓など、雪を利用した軽スポーツ商品の開発
- フィットネスウォーキングや健康食、温泉等を組み合わせた健康志向の旅行商品の開発
- 健康旅行商品の科学的な検証など、鳥取大学医学部等との産学官連携による研究開発



	現状値(H18)	目標値(H21)
スポーツ合宿による利用者数	9,000人	18,000人
健康志向旅行商品のメニュー数	1	3

基本方向 山陰道と連携する 「観光交流に必要なインフラの整備」

- 名和淀江間の開通など高速道路網の整備促進
- アクセス道の整備や案内標識の改良による高速道路へのアクセス環境の向上
- 道路改良と案内標識の改良による観光地への交通アクセスの利便性の向上



	現状値(H18)	目標値(H21)
案内標識の改良を必要とする箇所数	45	0

目標 3 雇用と所得を増やす

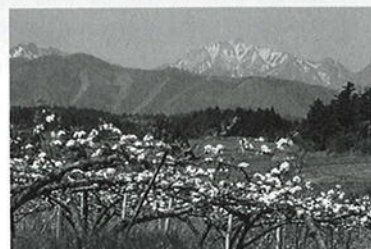
基本方向 ブランド育成と有機農業による 「農産物の高付加価値化」

- 農産ブランド品目の試作・実証や大山ブランドとしての生産基準の研究によるブランド育成支援

大山町の農産ブランド8品目

大山そば・地大豆・高原ブルーベリー・地どり・特栽培コロッケ
特栽培ねぎ・特産梨・手づくり加工品(ブルーベリー加工品、りんご加工品)

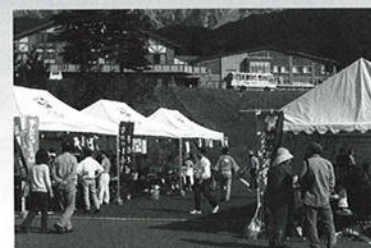
- 有機農業研究会の設立や独自の認証支援制度の研究・創設等、有機JAS認証取得支援制度の創設



	現状値(H18)	目標値(H21)
大山町の農産ブランド品目の栽培基準	0	8品目
大山ブランドの認証基準の確立	0	15品目
有機JAS認証取得数(申請中も含む)	3	6

基本方向 加工団体等の連携強化による 「特産品・料理・商品の磨き上げと供給力強化」

- 大山寺参道、山陰道の総合的な拠点施設との連携による定期的な大山の恵みからす天狗市の開設
- 特産品研究会の発足、専門アドバイザーによる塾の開講やコンテストを通じた既存特産品のレベルアップ
- 既存グループの再編、統合による法人化など、加工団体の連携等による供給体制の強化



	現状値(H18)	目標値(H21)
からす天狗市の年間開催回数(地元・出前)	6回	12回
特産品開発販売塾の受講者数	—	年間30人
特産品・名物料理コンテストの出品数	—	15
特産品加工事業の法人化	0	3

基本方向 大山の農林水産品を開発・販売する 「産地商社機能の確立」

- 産地商社機能の確立に向けた設立計画の策定による大山恵みの里公社の設立・運営
- 規格外商品の町内流通、地産地消率の拡大など、農畜林水産品や特産品の販路開拓・販売
- インターネット通販塾の開講やポータルサイトの開設によるインターネット通信販売の事業化
- 農企業や健康食品製造など、地域産業と連携できる大山ブランドを活かした資源活用型の企業誘致



	現状値(H18)	目標値(H21)
インターネット通販塾の年間参加者数	—	30人
農業参入企業・健康食品製造業の誘致	—	2社

目標 4 情報を発信する

基本方向 大山観光のガイド機能強化に向けた「情報提供システムの確立」

- 看板や標識の整備、来訪者に役立つマップ等の作成による観光案内情報提供方法の充実
- 携帯電話サイト等を活用した携帯端末による情報提供システムの導入促進



	現状値(H18)	目標値(H21)
携帯情報提供サイトへのアクセス数	0	15万件

基本方向 大山ブランドの価値向上に向けた「地域団体商標の取得」

- 勉強会の開催や取得支援制度の創設等による地域団体商標の取得支援



	現状値(H18)	目標値(H21)
地域団体商標勉強会の年間参加者数	—	30人
地域団体商標申請件数	—	10

目標 5 人材を育む

基本方向 大山を学び未来を創造する人材育成の場とする「大山区の提唱・普及」

- 観光やおもてなしなどの人材育成につながるお宝百選の活用や大山検定の実施など「大山区」の展開
- 郷土学習としての学校教育における「大山区」への取り組み



	現状値(H18)	目標値(H21)
講座の開催(四半期単位)	—	年間4講座

基本方向 都市シニア世代の町内移住を促進させる「大山移住支援制度の創設」

- 研究会の発足により地域特性をふまえた移住ビジネスについて研究
- 長期滞在用貸家や遊休農地等の情報収集や空き家・空き地バンク制度等による大山移住支援制度の創設



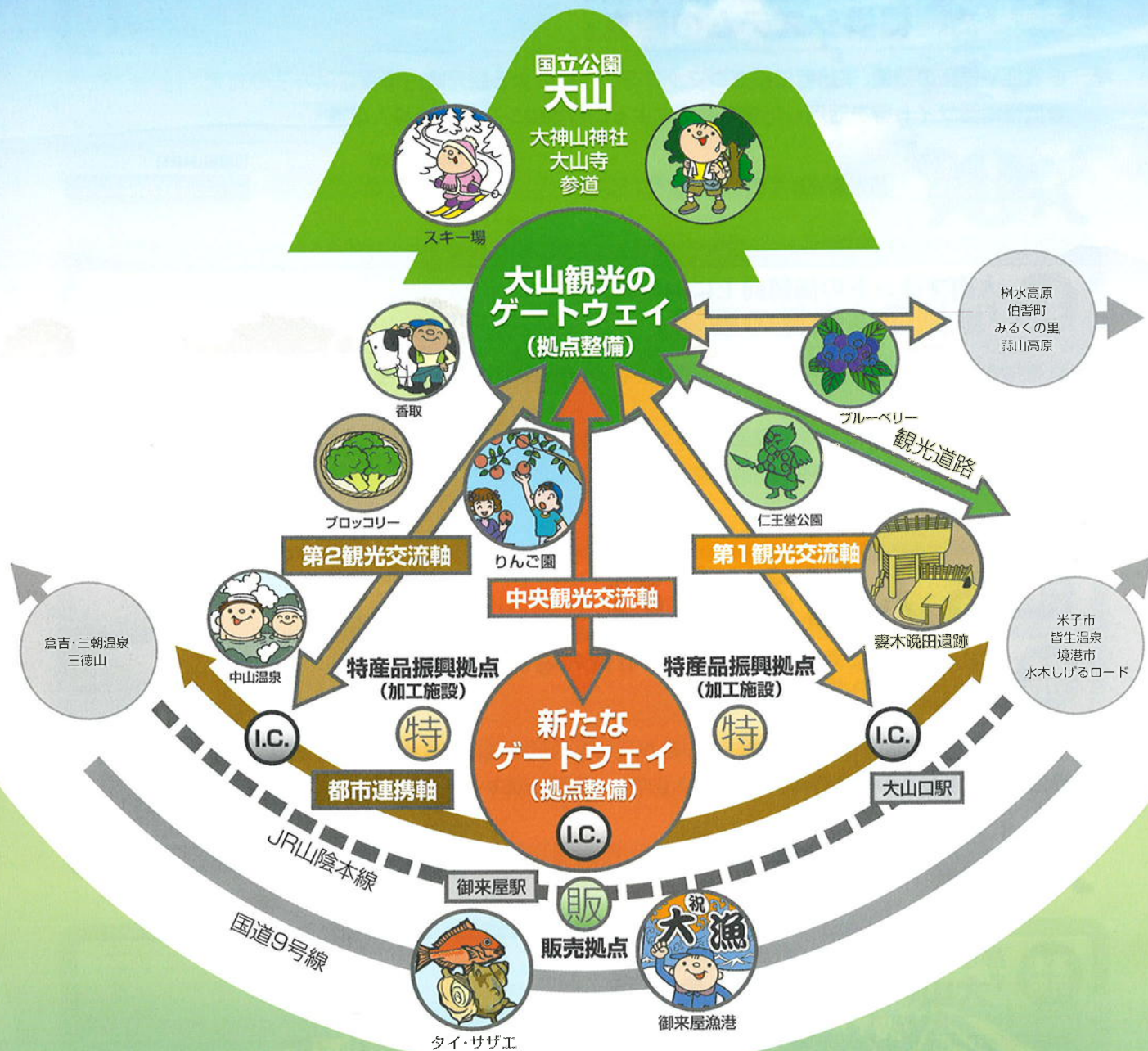
	現状値(H18)	目標値(H21)
空き家・空き地バンク登録情報	—	30件

大山恵みの里づくり計画は、大山町の貴重な地域資源やこれまでの取り組みを結集して、「自然の恵み」「歴史・文化の恵み」「人・心の恵み」「農と食の恵み」を活かし、さらに高めるまちづくり＝『大山恵みの里構想』を実現するための行動計画です。

“大山をシンボルとする観光地域づくりによる産業・雇用・所得の活性化”のためには、大山町の総力を結集することが必要です。

この計画をもとに、町民・企業・行政等がそれぞれの立場で身近な活動に参画し、まずは活動指標の目標値の達成をめざして、ともに本気になってチャレンジしましょう！

大山町活性化のグランドデザイン



計画に関するお問い合わせ先

大山町役場 企画情報課 大山振興室 〒689-3211 鳥取県西伯郡大山町御来屋328番地 TEL 0859-54-5202